

ケダゴロ

富山で開催される

ダンスカンパニー「ケダゴロ」を率いる

振付家・ダンサー 下島礼紗が富山に初登場！

ケダゴロは、実際に起きた事件や出来事を手がかりに、
身体を通して社会や人間を鋭く問い直す作品で注目を集めてきました。

既存のダンスの枠にとらわれない大胆な表現は、
国内外で高い評価を受けています。

本プログラムでは、ケダゴロの代表作『ヒココースカズコース』、『sky』を上映。

あわせて、下島礼紗によるワークショップを実施します。

「ケダゴロ」の世界を観ることと身体を動かすこと、
その両方から体験できるプログラムです。上映会のみ参加でもOKです！

ワークショップ終了後には、ミニトークも予定しています。

富山県のみなさま、はじめまして。
下島礼紗です。
ついにケダゴロの作品を
この土地で紹介できることになりました。

わたし的には富山といえば「富山ブラック」「立山連峰」。
それではここでクエスチョンです(ミステリーハンター風)。
私の故郷名物「まくらじさ」とは、なんでしょう？
答えを伝えるに来てくださった方には
プレゼントをさしあげます(ささやかな)。



こちらの募集情報に
心の奥底がザワザワ疼く方々…
その違和感を引っ提げたまま
お越し願います。
ダンス経験のない方も大歓迎。
富山のふしぎ、
発見しに行きます。

ケダゴロ / 下島礼紗 作品上映 + ワークショップ

Reisa
Shimojima



ケダゴロ/下島礼紗 作品上映+ワークショップ

「ビコーズカズコース」の日

2026年

5月23日(土) 13:00~16:15

●上映 / 13:00~14:15

●ワークショップ / 14:30~16:15

「ビコーズカズコース」 振付・構成・演出:下島礼紗 (75分)

フクダカズコ...一九八二年、愛媛県松山市で元同僚ホステスを殺害。犯行後、5459日間に及ぶ整形逃亡劇を繰り広げ、一九九七年、公訴時効成立二十一日前に逮捕された女。決して実録ではない。地球という檻に幽閉された女の実存が、重力の中を彷徨い、戯れ、抗い、逃亡を図る。



©bozzo

「sky」の日

2026年

5月24日(日) 13:00~16:00

●上映 / 13:00~13:45

●ワークショップ / 14:00~16:00

「sky」 振付・構成・演出:下島礼紗 (35分)

連合赤軍やオウム真理教の事件に取材し、これを芸術団体における密室的な人間関係などに照らして、集団における「狂気」の構造を主題化した作品。国内外のフェスティバルに多数招聘される。テーマもさることながら、ダンサー達が大きな氷のブロックを素肌で抱きかかえ、平手打ちで全身を赤く腫れあがらせる姿が各地でセンセーショナルに賛否を呼んでいる。



©bozzo

会場:富山市民芸術創造センター

講師:下島礼紗

■対象:中学生以上 ※ダンス経験は問いません。

■定員:上映会・ワークショップとも
各回30名程度

※先着順。いずれも定員に達し次第、締切ります。

※上映会に参加した方は、ワークショップ見学OKです。

※両日参加していただくことも可能です。ワークショップの内容は異なります。

■参加費:上映会 各回500円

ワークショップ 各回1,000円

■申込期間:4月15日(水)~5月20日(水)

■申込方法:申込期間に

右のフォームよりお申し込み
ください。



©草本利枝

下島 礼紗 Reisa Shimojima

ケダゴロ主宰・振付家・ダンサー

1992年鹿児島県出身。7歳より様々なダンスに親しみ、桜美林大学在学中にコンテンポラリーダンスを学ぶ。2013年にダンスカンパニー「ケダゴロ」を結成し、以降すべての作品で振付・構成・演出を手がける。「ダンスとは、世の中を解釈するための一つの手法である」という理念のもと、国内外で論争を呼ぶ作品を発表。主な作品に、連合赤軍事件を題材にした『sky』、福田和子事件をもとにした『ビコーズカズコース』、韓国のセウォル号沈没事故に取材した『세월』、日本の「国体」をテーマとした『代が君・ペロペロ・ケルベロス』など。近年はアジアを中心に、韓国、香港、シンガポール、インドネシア、台湾、北アイルランドなどで、海外アーティストとの国際共同制作作品を多数発表している。横浜ダンスコレクション最優秀新人賞、第17回日本ダンスフォーラム賞ほか多数受賞。セゾン文化財団 2026年度セゾン・フェロー。



主催: (公財) 富山市民文化事業団、富山市

お問合せ: (公財) 富山市民文化事業団 総務企画課 TEL.076-445-5610(平日8:30~17:15)

🔍 [オーバーホール](#)